



## 「タイの母」シリキット王太后崩御

北陸銀行 国際部  
バンコク駐在員事務所  
所長 湧川 裕明

### 1. はじめに

タイのワチラロンコン国王の母、シリキット王太后が2025年10月24日、93歳で逝去されました。アヌティン首相は、王太后への敬意と追悼の意を表すため、政府関係職員と国営企業の従業員は1年間を服喪期間とし、一般国民に対しては90日間は黒や白など服喪にふさわしい服装を推奨するメッセージを発信しました。

本稿執筆時点で崩御から2か月余りが経ちましたが、国内の変化や様々な影響について紹介したいと思います。

### 2. 国内の変化

#### (1) 人々の様子

「国民のお母さん」として親しまれた王太后を偲び国内の寺院や広場には献花台が設置され、訪れた人々が思い思いに弔意を表していました。

王太后の逝去が報道されたのは週末でしたが、翌週の月曜日には、多くの人々が黒を基調とした服装で出勤していました。王太后の夫であるプミポン前国王が2016年に逝去された際、タイ国中の衣料品店で黒の服が飛ぶように売れたそうですが、今回も黒基調の服が品薄状態とされています。

王太后の逝去を受け、日系社会にも服喪への配慮が見られました。バンコク日本商工会議所が主催した講演会では、講演会後の交流会で酒類の提供がありませんでした。また、日系通信社主催のセミナー後の交流会では、酒類の提供はありましたが乾杯は行われず、会の冒頭には司会者より王太后逝去に対する哀悼の言葉がありました。



【事務所入居ビルの職員による追悼式】



【事務所入居ビルに設置された記帳コーナー】

(筆者撮影)

## (2) 公的行事やイベントへの影響

タイ政府による自粛要請を受け、服喪期間中は、各種イベントの内容を変更したり、規模を縮小したりして実施されることになっています。

### ●ロイクラトン祭り

クラトン（灯籠）を川に流し、農民に恩恵を与えてくれる水の精霊に感謝を捧げ、過去の厄を洗い流し、新たな幸運を願うお祭りです。タイの各地で毎年旧暦12月の満月の夜に開催されており、2025年は11月5日に行われました。今回は花火やウォーターショーなどの派手な演出はなかったものの、本来の儀礼的な内容で実施され、大勢の来場者が楽しみました。

### ●ニューイヤーカウントダウン

例年、バンコクのカウントダウンイベントは、著名アーティストの出演や花火・ドローンショーなどで派手に演出されることで有名です。

王太后逝去の報道直後は、各会場とも内容の変更が検討されましたが、現在一部の会場では、「シリキット王母陛下への敬意と感謝を込めて」というテーマの元、豪華絢爛な特殊効果の演出が発表されています。



【巨大クリスマスツリー(左)と王太后追悼コーナー(右)が共存する風景】  
(筆者撮影)

## 3. おわりに

他のアセアン主要国に比べ、タイの経済は低成長の状態が続いています。主要産業である自動車業界は足元では回復の兆しが見えているものの、つい最近まで新車販売台数が前年割れの状態が長く続いていました。もう一つの柱である観光業界も、2025年はインバウンド観光客数の前年割れが続いており、特に中国人観光客の減少傾向に歯止めがかかっていません。このような経済情勢下であるため、政府はシリキット王太后崩御に伴う服喪を奨励しながらも公的行事や各種イベントの中止命令は発していません。哀悼の意に沿った内容に調整したうえでの実施を推奨しており、国民生活はもとより観光業や消費経済への影響を最小限にとどめるための対応が求められています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
((株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp